



26 June 2005

高濱邦晃、初優勝。高橋梨香はインターナショナルイベント 2 勝目

ITU インターナショナルイベント天草大会は、6月26日(日)、熊本県本渡市特設コースで行われた。

午前11時5分にスタートした男子は、スイムで古川哲也(チームゴーヤー)がトップ。続いて岩田聡(千葉県連合)と優勝をねらう高濱邦晃(日本食研)の順。このままバイクでも3名が先行したが、10km付近で古川が脱落し、高濱と岩田が逃げる格好となった。この二人は順調にスピードを上げ、後続に4分近い差をつけて、ランへと移った。ランには高濱と岩田がほぼ同時に飛び出したが、ラン前半の細かなアップダウンで高濱が先行すると、岩田は追いつけず、コースが平坦になった市街地で高濱がスパートし、そのまま逃げ切って優勝を飾った。この優勝は高濱にとって初のもの。レース後、「ランで市街地に入ったとき、コーナーを曲がったあとダッシュして岩田選手の視界から消えようとした。見えなくなると、気分的にダメージが大きいもの」と、ランで最初から飛ばさなかったのは作戦だったことを語った。2位入った岩田は、「バイクで先行しなければ勝てないことは分かっていました」と素直に負けを認めた。3位には桑原寛次(沖縄県連)が入った。

11時20分スタートの女子は、田中敬子(チームゴーヤー)が最初からぐんぐんとほかの選手を引き離して、スイムトップフィニッシュ。その後は伊藤弥生(福岡県連合)、高橋梨香(トヨタ車体)の順。バイクで逃げる田中は、一時は後続に1分以上の差をつけたが、高橋と伊藤が後半スピードを上げて追い続け、トランジションに戻ったときは、田中と高橋の差は、わずか8秒に縮まっていた。ランでは、前半の上り坂で高橋が田中をかわすと、高橋が独走して優勝した。高橋は今年のITUインターナショナルイベントスビックベイ大会に続いて、インターナショナルイベント2勝目。レース後、「バイクでほとんど追いついていたので、ランでは自信がありましたから」と、予定通りのレース運びだったことを語った。2位となった田中は、「バイクでは一人で逃げなければ勝負にならないことは分かっていました。私はランが課題ですから、ほとんど一緒にバイクを終えたら、勝ち目はありません」と、悔しそうだった。3位は、松本華奈(島根県協会)が入った。

来週はいよいよ、アジア選手権シンガポール大会。日本選手の活躍に期待したい。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧いただけます。

